



神郷 公民館だより



神郷まちづくり委員会安全安心部より

三世代交流健康ウォーキング大会開催

多世代との触れ合いを目的とした『三世代交流健康ウォーキング大会』を開催します。是非ご参加下さい。

日時 令和4年6月11日(土) 9時30分集合

11時30解散予定 雨天中止

集合場所 神郷公民館 駐車場

参加費 無料(参加賞あり) 飲み物はご持参下さい

服装 体操服等歩きやすい服装

コース 松神子コース

A 足智姫神社折返し 2,6 km B 泉太師堂折返し 2,6 km

※参加希望の方は、各老人クラブ・神郷公民館に6月5日までに申込下さい。新型コロナウイルス感染防止対策をとって実施しますのでご協力よろしくお願ひします。



46-1181

koukou@city.

niihama.ehime.jp

神郷公民館

神郷校区の人口

人口 9,777 人

(男) 4,727 人

(女) 5,050 人

世帯数 4,587 世帯

令和3年12月末現在

幼稚園、小学校、中学校ともにピカピカの一年生が入園、入学しました。地域の皆様どうか温かい声援をよろしくお願ひいたします。

祝入園・入学

神郷幼稚園

男子 5名 女子 8名

計13名

神郷小学校

男子 32名 女子 41名

計73名

川東中学校

男子 83名 女子 87名

計170名

絵画の寄贈

岸根寧春さん(落神在住)が自作の絵画二点を公民館に寄贈して下さいました。春、秋の市展や県展に出品された作品で、公民館玄関先と2階学習に展示しています。どちらも作者さんの思いのこもった力作です。



公民館の花便り

春爛漫、公民館花壇には色とりどりの花が咲き誇って校区の皆さんを出迎えています。公民館では、神郷まちづくり委員会環境美化部さんが季節ごとのお花を年中育てて下さっています。おかげでいつも花の良い香りが辺り一面漂っています。ありがとうございます。



神郷俳句教室

百選の水の煌めき春隣

木下 信

広告の市に溢るる春野菜

安藤 由子

停戦を祈るばかりや春の星

市川 由紀子

潮騒を遠くに聴きて遍路宿

内田 八重子

触れそうで触れることなき春の月

加藤 ミドリ

悲しみは深山を越えて忘れな草

加地 清子

波紋残る浜辺を照らす春の月

永易 千鶴子

ひと鍬やひと鍬ごとのあたたかさ

三好 寿恵子

人権標語(神郷小)

手をとり合って 笑顔の花を 満開に

6年 筒井 瑛大(えいた)

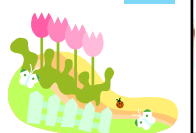
遊ぼうよ 一人じゃないよぼくがいる

6年 伊藤 仁(じん)

神郷校区連合自治会からのお知らせ

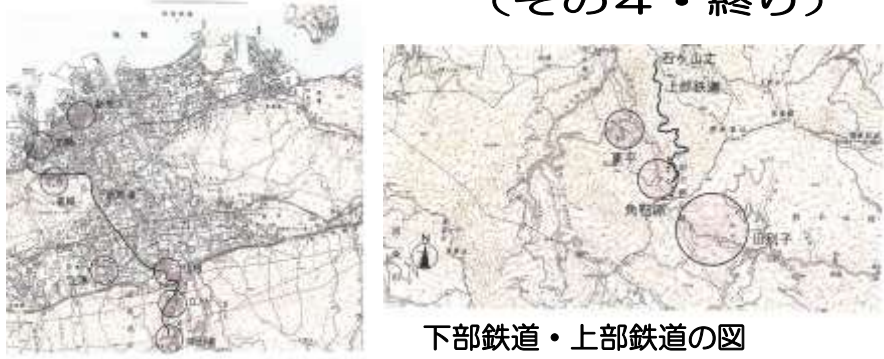
「神郷校区ふれあいスポーツ大会」中止

昨年より連合自治会ふれあいスポーツ担当自治会長でふれあいスポーツ大会開催に向けて話し合いを重ねて参りましたが、残念ながら昨今のコロナウイルス感染状況を鑑みて令和4年度も中止することに致します。



探訪シリーズ

明治32年、別子銅山の大災害について 神戸新聞の記者が新居浜へ取材に来た (その4・終り)



下部鉄道・上部鉄道の図

続編です。だよりで「1899年(明治32)8月28日にあった、別子銅山の死者513人負傷者26人という人的被害、製錬所など生産体制の流失、山津波で一山が崩壊する。」という別子銅山の大災害の取材のため、神戸新聞の江見忠浩記者が、新居浜へ来た。そのはしりについて書いてきた。江見忠浩記者は、単身にて取材を決意し、8月31日夜中の11時40分神戸駅発の列車にて出発した。列車は明けの9月1日午前6時10分尾道駅に着く。尾道では、新居浜への連絡船は救援物資を積み込むため予定を遅れて、午後1時ようやく新居浜に向け出港。途中また救援物資を積み込む等のため四阪島と今治へ寄港して、ようやく新居浜の沖合に停泊、さらに伝馬船乗換えて岸辺に降りたのは午後9時過ぎであった。その晩は、旅館「糸川」に宿泊した。

新居浜での第一日目9月2日は、朝から住友の事務所を訪問すれども、山の方は災害の跡はおさまらず、山は時々鳴動するに、人々混乱の極にあるが、急ぐことは山中にいる6千人もの人への糧食の運搬が急務なことなどで、その対策に懸命。なお、上部鉄道は山崩れなど破損甚だしく当分開通見込みなし、下部鉄道の方は行けるところまで行くとのことであった。

第二日目の9月3日は、朝の7時に住友構内から汽車に乗り別子銅山に向け出発したが、下部鉄道は端出場にて行き止まりとなる。これから石ヶ山丈まで千メートルをよじ登り石ヶ山丈の運輸課に午前11時20分に到着。それから上部鉄道の線路上を歩き角石原に着く。そこからトンネル(第1通洞)を抜ける、そこは銅山跡地、そして山林課に着き、この日はこの小足谷倶楽部に泊まり災害の状況を取材。

第三日目9月4日は、午前8時小足谷倶楽部を出発、帰路、石ヶ山丈で視察のため来ていた家長住友吉左衛門氏一行に会うが、混雑の際でもあり、数分の面談を得るに至る後、一日も早く山を下りて、この惨状を報告せんとすることから帰途を急ぎ急坂を端出場に駆け降りて新居浜に着いたのは午後1時頃であった。更に一日滞在し取材、新居浜での4日の取材、併せて6日の取材の旅を終えたのである。

旧別子は、120年ほど前まで一万人を越す人々の暮らしがあつて、山は割れんばかりに賑わっていた。だが、大災害を起因に時代が大正から昭和になる頃には誰も住まない廃墟となった。それが平成から令和のいま、自然の回復力は著しく、緑にあふれ花や紅葉の頃にはハイキングや登山の人々で賑わう場所として脚光を浴びている。

神郷校区各種団体紹介⑨

神郷史情郷土芸能保存会

本会は郷土の伝統芸能を保存、伝承すると共に伝統芸能を作り、文化華かおる町づくりに寄与することを目的としております。唄って踊れる郷土歌として、2009年に「神郷の唄を創ろう会」の有志のメンバーにより創作されました。

神郷史情の普及と末永い継承を願いながら活動しております。

神郷校区は六つのブロックに分かれますが「見守られ発展する神郷」と題し、唄も六番まであり(一)吉岡泉の水の恩人、小野寅吉翁、(二)広く世を照らす清住神社(三)地域を見守る田上神社(四)秋まつり太鼓台で賑わう多喜浜駅前(五)年貢の取り立てに苦しむ村を救った村上平兵衛(六)心と体を育てる岡城館、それぞれの地区の特徴や名所や歴史的人物が織り込まれ郷土色あふれる唄と踊りになっております。

毎年、校区運動会、夏まつり、文化祭、校区三世代交流芸能祭や市郷土芸能発表会にも参加し、活発な活動を続けてきました。

その活動に対し令和二年「伊予銀行地域文化活動助成制度」の助成金を頂きました。これまで十年余年、携わってこられました会の諸先輩方には頭が下がります。

神郷史情を末永く残そうと毎年、小学校四年生に唄と踊りを指導し、児童が運動会で披露しておりましたが、令和二、三年度はコロナ禍でほとんどの行事が中止になりました。四年生への唄や歴史の指導は山本副会長が致しましたが、踊りの指導は教頭先生も延期の度々スケジュールの調整にご尽力いただきましたが中止となり、頂いた助成金で、保存会十周年記念として作りました唄や踊りを織り交ぜた下敷を四年生全員に贈呈しました。

私達、総勢四十名、高齢者集団ではございますが、九十歳になられてもお元気で踊りのご指導をいただいております今井先生を目標に、踊る時は目が輝いております。

踊りに御興味のある方、健康維持の為、御一緒に楽しみませんか。コロナも収まり一日でも早く若い方も交わり楽しく踊れます事を願っております。

小学生への指導の様子



5月(皐月)の行事予定

6日	(金)	19:00~	環境美化部会	神郷公民館
7日	(土)	19:00~	老人会長会	〃
9日	(月)	19:00~	健全育成部会	〃
16日	(月)	19:00~	民児協定例会	〃
24日	(火)	19:30~	連合自治会長会	〃
29日	(日)		神郷小学校運動会	神郷小学校
30日	(月)	19:00~	少年補導定例会	神郷公民館